事業所名　わんすてっぷ

放デイ支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　22 日

法人（事業所）理念		小さな一歩を共に喜び、共に進む		
支援方針		「小さな一歩を共に喜び、共に進む」を目指し、日々話し合い、連携をとりながら支援について考える。 安心と安全があってこその支援を目指し、安全対策に努める。策を講じていも、結果が思わしくないことはあるが、細心の注意を払い、安全が保てるような人員配置をした上で活動を行う。 「児童のできることを増やす」を目指し、職員自身の質の向上に努める。		
営業時間		11　時　0 分から　17 時　35 分まで	送迎実施の有無	あり　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善（健康状態のチェックを行い、意思表示が困難である子どもの特性 及び発達過程等に配慮し、観察を行う。） ・生活習慣の形成（基本的な生活リズムや食を営む力の育成、口腔内機能・感覚等に配慮し、咀嚼、姿勢保持、自助具等に関する支援を行う。） ・基本的生活スキルの獲得（身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。） ・リハビリテーションの実施（日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。） ・構造化等の生活環境整備（様々な遊びを通して学習できるよう環境を整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。）		
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上（動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢 の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。） ・姿勢と運動・動作の補助的手段（姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助的手段を活用して支援する。） ・感覚の補助及び代行手段の活用（保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう各種の補助機器を活用できるよう支援する。） ・感覚過敏や鈍麻への対応（保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう各種の補助機器を活用できるよう支援する。）		
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得（視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。） ・概念形成の習得（空間、時間、数量、形の大きさ、重さ、音、色の違い等の習得のための支援を行う。） ・対象や環境の適切な認知と行動（自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。） ・行動障害への予防及び対応（感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。）		
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用（具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、 体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。） ・受容言語と表出言語の支援（話し言葉や各種文字・記号等を用いて、相手の意図の理解、自分の考えを伝える等、言語を受容し表出する支援を行う。） ・コミュニケーション能力の獲得（他者との相互作用を通して、 共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。） ・指差し、身振り、サイン等の活用（絵カードやサイン等のツールを適切に用いて意思の伝達が円滑にできるよう支援する。） ・環境の理解と過ごし方の獲得（個別または小集団の中で、適切な過ごし方や意思の表出方法が獲得できるように支援する。）		
	人間関係 社会性	・人間関係の形成（身近な人を意識し、親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、安定した関係を形成するための支援を行う。） ・模倣行動の支援（遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。） ・感覚運動遊び、象徴遊び（感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。） ・一人遊びから協同遊び（一人遊びから並行遊び、大人が介入しての連合的な遊び、役割分担や規則を守る協同遊びを通して社会性の発達を促す。） ・自己理解と情動の調整（できること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。） ・集団への参加への支援（集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。）		
家族支援		送迎時や連絡帳、アセスメント時の面談で保護者と児童の様子を共有し、より良い支援を一緒に考える。 パルフェイトの取り組みを活用しつつ、保護者支援を行う。	移行支援	本人の日々の生活を安定して過ごすため、必要に応じて、学校や他事業所、地域との連携を行う。
地域支援・地域連携		地域の公園や、施設への外出活動、他福祉事務所の夏祭りに参加する等、事務所外での活動を通じ、地域での生活に必要なマナーやルールを支援する。	職員の質の向上	内部での研修の実施している。オンラインの研修も活用している。また、外部の職員や実習生等を受け入れることで、新しい意見を取り込みやすい風通しの良い職場を作り、職員の質の向上を目指す。
主な行事等		・集団活動（わなげ・ボーリング・ラダーゲッター・棒差し・お手玉飛ばし等、簡単なゲーム） ・季節に合わせて活動（月制作・水遊び・クリスマスのゲーム・桜ひらひら等） ・イベント（外出活動・買い物イベント・おやつ作り等）		